



相模小5年 収穫祭

やまのべ ぎかい

YAMANOBE Assembly Letter

だより

議案審議・補正予算 2P
 視察レポート（群馬県中之条町） 4P
 一般質問 町はどうする？ 6P

3月定例会より
 町ホームページで
 議会中継を
 配信!!

発行/山形県山辺町議会 編集/広報常任委員会
 Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp



〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

やまのべ ぎかい
 だより
 2017年1月号 VOL.95



ちよつと!! ひとこと



エレク トーン奏者

山辺の自然が大好き



横山 正実さん(大塚出身)
 ープロフィールー
 1987年9月5日生まれ 千葉県在住
 洗足学園音楽大学卒業後ヤマハミュージック東京千葉センターで講師を務める傍ら演奏活動を行っている。

—小さい頃の思い出は？

相模小学校で田植への授業を受けたり、スキー教室に参加したりと、アクティブに山辺の自然に親しんだことですね。近江住宅ができて、そちらに住んでいる友人たちとあちこち冒険したりしていました。自宅にエレク トーンがあったので、仲間たちと色々な打楽器を持ち寄って小学生ロックバンドごっこ？みたいなこともしていました。私の組んだ初めてのバンドです(笑)。

—エレク トーン奏者になったきっかけは？

小学生の頃、当時通っていたエレク トーン教室で、ポップスを取り扱っていたことでしょうか。それまでは基礎的な鍵盤奏法をひたすら練習

—山辺町に対する願いは？

今でこそ、千葉を拠点に活動していますが、やはり山辺は私にとって大切な故郷です。時代に流されることなく、子供たちが自然にふれあいながら、のびのびと育っていきける環境づくりを続けてほしいと思います。私の音楽も、そうしたおからかで優しい世界から産み出されていると考えたいです。



“ぴっかり相模”での演奏

表紙の説明



12月4日、相模小学校5年生親子によるもちつきが行われました。
 地域の方たちの協力で行ったので、のめり込むようになりました。この小学生時代の出会いがすべての始まりだったのかもしれない。そのときのエレク トーンの先生は、11月20日の「ぴっかり相模」でのステージにも足を運んでくださいました。

お母さんの話では、「普段はあまり食べないの」という子どもも、よほどおいしかったのか何回もおかわりをしていました。

雑煮、納豆、あんこ、きなこのおもちがたくさんできました。

あけましておめでとうございませう。雪のない穏やかなスタートも、やはり寒波襲来となりましたね。今年も西暦。脅威となっている鳥インフルエンザが終息しますように。

そして西暦は「取り込む」の語呂合わせで昔から商売繁盛の象徴とされ縁起が良いと言われていました。景気が上向き良い年になる事を願います。

「議会だより」もさらに読みやすくなるよう、賞を取った広報紙を参考に「良いとこドリ」をしていきます。

本年もよろしく願っています。

編集後記

あけましておめでとうございませう。雪のない穏やかなスタートも、やはり寒波襲来となりましたね。今年も西暦。脅威となっている鳥インフルエンザが終息しますように。

そして西暦は「取り込む」の語呂合わせで昔から商売繁盛の象徴とされ縁起が良いと言われていました。景気が上向き良い年になる事を願います。

「議会だより」もさらに読みやすくなるよう、賞を取った広報紙を参考に「良いとこドリ」をしていきます。

本年もよろしく願っています。

遠藤 真由美 記

- 発行責任者 遠藤 真由美
- 編集 長 鍋倉 竹志
- 副委員長 渡辺 真由美
- 委員長 遠藤 真由美
- 副委員長 渡辺 知広
- 委員 齊藤 昭彦
- 委員 武田 啓一郎
- 委員 渡邊 裕二
- 委員 安達 春彦

発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会 ●表紙デザイン/ Zoo's design
 〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤田印刷

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。
<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



(南風園)の 工事などを承認!

定例会のあらまし

第4回定例会が12月7日から9日までの3日間の会期で開催されました。

山辺町教育委員会教育長任命の同意や、山辺温泉保養センターの指定管理者の指定など、提出された9議案と議員発議1件は、原案通り可決しました。

建替になる町営住宅 「南風園」契約変更

地盤改良工事に日数を要したことや、コンクリート打設の防寒対策などにより設計の一部を変更し、当初契約の金額に約165万円の増額。(総額約1億5500万円)

また、一般公募により新しい名称は「ウイングガーデン山辺」に決定しました。

緑ヶ丘3号公園の 契約変更

軟弱地盤対策と施工内容精査のため設計の一部を変更し、当初契約金額に約300万円の増額。(総額約5165万円)



建設中の「ウイングガーデン山辺」

山辺温泉保養センターの 指定管理者決定

継続して山辺商業協同組合を指定管理者としました。(指定期間：平成29年4月1日から5年間)

医療費控除に特例

新制度セルフメディケーション税制として医療費控除の特例を創設。健康の維持増進など一定の取り組みを行う個人が、スイッチOTC薬(※)を年間12000円を超えて購入した場合、12000円を超える分を所得控除します。購入費は10万円が限度で、現行の医療費控除と当特例のいずれかを選択します。(平成30年申告から)

※スイッチOTC薬…医療用から転用された医薬品で、薬局で買える医師の処方箋のいらぬ薬のこと。

教育長の任命に同意

任期満了に伴い、安達幸司氏が再任されました。

(任期：平成28年12月11日から3年間)

ウイングガーデン山辺 防寒対策

議案の 審議

主な補正予算

公共下水道建設費

570万円の減額

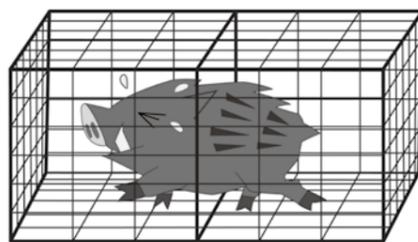
維持管理費削減のため、天神地区内のマンホールポンプの更新工事を変更して、新たに下水道管を埋設します



有害鳥獣捕獲報奨金

20万円

被害拡大防止に向けて、鳥獣被害対策実施隊員にイノシシ1頭捕獲につき1万円を支給します



除雪費

5000万円の増額

除雪体制に備えるため



「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を提出しました

山形県内の各町村では町村議員の成り手が不足し、平成27年の統一地方選挙では、20%の議会で無投票となり、さらに4町村では欠員ができました。この問題には、仕事を辞めて立候補するにも議員報酬が少なく、4年任期のため将来の保障がないこともあり、町村議員という仕事に対する興味関心が低いという背景があります。山辺町においても、近年には同じような現象が起りえます。この取り組みは、今後の議員の成り手を確保するためにも、時代に合った年金制度の整備を要望するものです。

臨時議会 12/22

町長や議員の特別職と職員との給与

人事院および山形県人事委員会の勧告により改定します。

○町長や議員の特別職の期末手当の支給割合を0・25カ月増額

○一般・技能労務職員の給料月額および期末手当並びに扶養手当額の変更

視察Report in 中之条 町(群馬)

視察テーマ 新規就農者開拓



農業振興に対する 行政の姿勢に感心

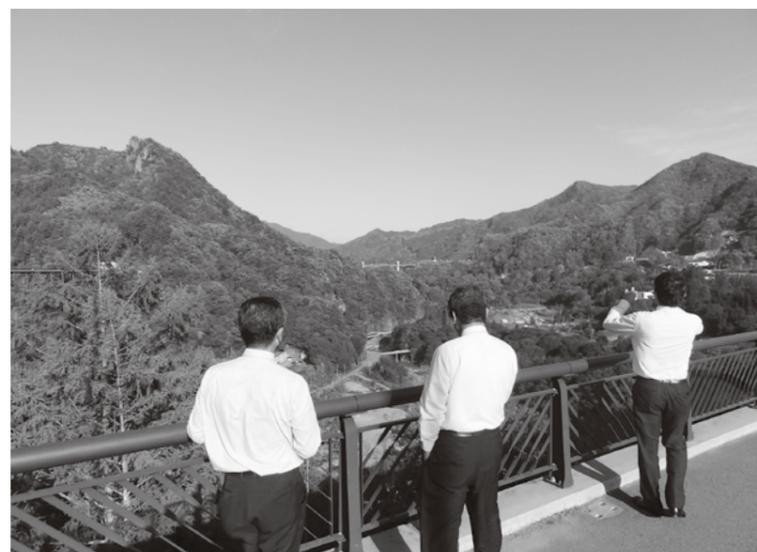
厚生産業常任委員会

視察テーマ 移住・定住促進



各課連携で 人口減少に歯止めを

総務文教常任委員会



圧倒的な政治力を見せつける「ハッ場ダム」工事現場

花き栽培で就農者を支援
同町六合支所において、事業概要の説明を受け現地を視察。六合地区は20年ほど前から地元の農家や退職後の帰農者を中心に花き栽培が盛んに行われるようになり、現在1億4

千万円を超える生産出荷額を持ち、地域の中心作物となっています。特徴的なのが標高の高い六合地区の気候風土を活かし、他産地と競合しない品種の設定。綺麗な切り花と球根には手を出さず、設備投資を低く抑えた少量多品目を目指すという

中之条町で快適な暮らしを実現!!
住まいのための補助金が充実しました

新築	中古	空き家	住宅	町内業者	町外業者
町内業者 補助率 1/20 上限 100万円	補助率 1/40 上限 50万円	町内業者 補助率 1/2 上限 100万円	町内業者 補助率 1/10 上限 30万円	町内業者 補助率 1/2 上限 70万円	町外業者 補助率 1/4 上限 35万円
町外業者 補助率 1/40 上限 50万円	条件 -平成28年4月1日以降に取得したもの -5年以上定住すること -税金などに滞納がないこと -他の補助金との併用は不可	町内業者 補助率 1/2 上限 100万円	町外業者 補助率 1/4 上限 10万円	対象建物 町内にある空き家 -平成28年4月1日以降に建築された建物 -56年5月31日以前に建設された建物 -10年以上空き家状態が経過している -急傾斜地崩壊危険区域指定区域に指定された建物 -対象工事 -修繕工事 -改築工事 -増築工事 -その他 -工事前に申請すること -税金などに滞納がないこと -他の補助金との併用は不可	町内業者 補助率 1/2 上限 16万円
対象工事 -平成28年4月1日以降に取得したもの -5年以上定住すること -税金などに滞納がないこと -他の補助金との併用は不可	町外業者 補助率 1/4 上限 8万円	町内業者 補助率 1/2 上限 16万円	町外業者 補助率 1/4 上限 8万円	町外業者 補助率 1/4 上限 8万円	町外業者 補助率 1/4 上限 8万円

人口減少対策の先進地
10月27日、群馬県中之条町で花き栽培支援を取り入れたふるさと移住・定住促進事業の視察研修を行いました。「花と湯の町」として知られる群馬県中之条町。7年間で1500人以上の人口が減少、現在の人口は1万6900人と、年々減少の一途をたどっています。対策として地方創生加

速化交付金を活用し、急激な人口減少に歯止めをかける施策を講じていました。ふるさと移住・定住促進事業を柱に移住定住コーディネーターの配置、空き家の実態調査、空き家対策計画の策定、新婚さんお米プロジェクト（新米60キロ）、廃校した校舎を改修し、活用交流活動拠点施設に活用するなど。移住の相談や体験についての窓口を開

中之条町の移住・定住促進の取り組みが町は…?

設し、各課連携を図りながら、事業の推進を行っていました。住宅取得費補助金、空き家対策補助金、子育て応援サイトの運営など、中之条町で快適な暮らしを実現していただくために講じている取り組みは、交流から移住へと導く計画で地域資源を活かし、地域経済の活性化につながるような効果が期待できるものでした。当町においても、魅力ある町、地区そして人づくりなどの環境面を含めた条件整備も併せて推進すべきものではないかと、とても考えさせられた研修会でした。

共通の目標に、栽培農家が丸ごと取り組んでいました。また、大変驚かされたのが行政支援の姿勢で、視察したビニールハウス8棟は、町が建設。耐雪型の強度の高い骨組みと充実した設備、一棟あたり（約100坪）の価格は500万円。利用者に年間2万4千円で貸し出し、新規の就農者、帰農者支援を行っていました。今後、当町の農業再生に参考になるものでした。一方、中之条町に向かう途中の車窓で見たハッ場ダムの工事現場やその周辺整備、山形では見たこともない超大な規模で、莫大な予算が投入されている現実に、圧倒的な「政治力の差」と一言で片付けられていいものか、複雑な山間の風を感じてきました。

視察レポート

施設廃止後の跡地の利活用方針は

(町長) さらに効率的・効果的な有効活用を検討していく



神保 稔

質問 施設廃止後の利活用に向けた基本的な考え方は。

質問 近年の公有財産への取り組み実態は。

質問 有効活用例として旧鳥海小・中学校のグラウンドをドクターヘリなどのランデブーポイント(離着陸場)として活用している。

質問 歴史公園として整備する考えは。

質問 玉虫湖畔跡地の利活用の計画は。

質問 町の山積する課題解決をはじめ職員の資質の向上、人材の育成の向上を図るためにも十分対応していきたい。

回答 公有地利活用基本方針により、耐震基準に満たしていない建物は原則解体、満たしている建物は利活用に向けて調査・検討している。

回答 25年度に大塚大寺線事業残地の売却。26年度は旧作谷沢支所の売却、旧中支所と旧畑谷ファミリールンド倉庫の解体、27年度は旧畑谷農村婦人の家を畑谷地区へ譲与。

回答 現在、公民館や小学校の駐車場や旧役場跡地の計画は。

回答 整備構想に当たっては、これまで多くの有識者からのご意見をいただいた経緯もあり、財政状況を十分勘案し、中・長期的な展望に立って検討していきたい。

回答 現在、第5次総合計画策定との整合性を図りながら各視点からの調査、検討している。また、ため池百選の玉虫沼を中心



ドクターヘリランデブーポイントでの訓練状況



解体が待たれる旧作谷沢へき地保育所

町政の一般質問

ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



傍聴しませんか 次回の定例会は3月です。お気軽にどうぞ。電話 023-667-1117 (議会事務局)

12月の定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。

- 神保 稔 **公有財産管理** 施設廃止後の跡地の利活用方針は
- 樋口 和男 **地域おこし** 宿泊所ゼロ解消策は地域おこし協力隊で
- 渡辺 知広 **農業問題** 農業担い手育成協議会の立ち上げを自治体の非正規雇用の実態と今後の対策
- 武田啓一郎 **学校教育** 学校規模の適正化町はどう話しを進めるのか
- 安達 春彦 **人口増加** 人口増への取り組み状況と今後の対策は
- 遠藤真由美 **高齢者安全** 増加する高齢運転者の安全のために子ども達の生きる力向上に向けて
- 渡邊 裕二 **人命最優先** AEDの夜間使用の障害における対応は
- 齋藤 邦彦 **健康維持** 健康な高齢者を増やそう
- 本田四志子 **学校再編** 人口減少に伴う学校再編は

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

農業担い手育成協議会の立ち上げを



渡辺 知広

(町長) 農家みずからが先頭に立つことが重要

質問 行政もさまざまな補助や優遇措置で農業支援していることは評価しているが、現実問題として一向に改善しないどころか、衰退に歯止めが掛からない。後継者の育成は待ったなしという危機感が足りないと思う。小規模農家ができることはやりつくしている現状の中、行政指導でも担い手育成を行なうべきではないか。

答弁

農業の衰退にはたえず危機感を持ちながら対応しており、これまでも集約農家の持統と法人組織への移行、法人化に向けた支援など、多岐にわたる内容で農業者、農

業関係団体よりご意見をいただき、各々の役割や展開すべき事業や支援方法について検討していくこととしている。町の呼びかけで組織構築を進めると、受入



立派なハウス、町が安価で農家に貸し出し(中之条町視察)

業者が労力や経費などの負担から義務感が生じ、組織活動への障壁となることも考えられるので、農業者自身が先頭に立ち、自由な仲間づくりの活動を行えば、地域農業への熱意を新規就農希望者へ直接伝えることができる。

町としては強い指導力を発揮できる農業者の発掘とあわせ、担い手育成協議会の組織づくりを後押ししていく。



多様な働き方?働く人の本音は...

質問 自治体としての社会的役割や職務の重要性を考えれば、日常的な非正規雇用は適当でない。さまざまな雇用体制の特質を生かすというのであれば、非正規の職員にアンケートでも取ってみればいい。誰もが豊かになるうと一生懸命働いている、「同一労働同一賃金」の原則に沿った雇用とすべきだ。

自治体の非正規雇用の実態と今後の対策

答弁 町行政の円滑な運営のため、正規職員、日々雇用職員、非常勤職員一緒になって業務を行っている。今後、職員負担はますます増大することが想定されるが、社会情勢や町財政状況を勘案すると、現時点での正規職員の増員は厳しい。「同一労働同一賃金」については、取り扱う業務や責任分担に違いがあるので同一労働にはあたらなないと考えている。

宿泊所ゼロ解消策は地域おこし協力隊で

(町長) 地元の受け入れ体制の整備などを総合的に判断し、活用の検討を行う



樋口 和男

質問 政府が地方創生を後押しする「地域おこし協力隊」の制度活用について、平成27年6月の一般質問で、町は「地域の課題や要望を整理する必要がある」と述べている。はや1年6カ月経過しており、どのように整理しているのか。また、目的と時期をどのように見極めているのか。

答弁

現在のところ、特定の地域からの受け入れの要望はきていないので整理するまでに至っていない。平成27年10月に策定した町の総合戦略の中に、「地域おこし協力隊1人」という目標値



宿泊所ゼロが続く山辺町

質問 町の課題の一つとして、玉虫湖畔荘が平成24年に解体を定めているものの、導入時期などについては、地元との綿密な協議が必要となる。

解消策として、空家を修繕して宿泊所の一つである民宿などとして活用してもらい、若女将さんを「地域おこし協力隊」として受け入れて、体験型観光の推進による地域活性化と空家対策、そして、人口減少対策の山辺版地方創生の一策にしてはどうか。

は、日帰り圏であることを活かした観光・交流の増加ということを示しているが、宿泊所は少ないということか。また、地元の意見や要望がないかぎり町は動かないのか。

知恵と力を出し合い、この難局を乗り越えるべしと考える。



里山一帯に民宿などの宿泊所を

町は協働のまちづくりを推進している中、各地域に地域担当職員を配置しているが、職員による情報の提供と事業の推進を図るべきではないか。戦後最大の危機到来の中、地方創生まっとなし!!町と議会と町民、

答弁

イベント時の民宿や男子バスケットボールチーム・バスラボ山形ワイヴァンズの合宿所など、町内につくってもいいのではないかと。町民と知恵を出し合いたい。また、地元での受け入れ態勢などが整ってきたときに、総合戦略の見直しや地域おこし協力隊の活用も含め、今後の検討課題とする。

人口増加

人口増への取り組み状況と今後の対策は



安達 春彦

(町長) 戦略に基づき、さまざまな切り口から検討を進めたい

質問 山辺町の総人口は、平成28年11月現在1万4633人、それが2060年には1万人を切るという調査報告があり、人口増への取り組みは町の存続に関わる急務である。昨年9月に婚活支援について質問したその翌年度には婚活の支援員登録制度へ予算編成し成婚に至った方もいた。今後は支援員の報酬金のみではなく、成婚した方々にもお祝い金を出すなど、取り組みの強化は考えられないか。

答弁 婚活支援員の活動により成婚した方と、恋愛により成婚した方を区別し支給

質問 議員研修で訪問した群馬県の中

するのはいかがなものかと考えている。また、成婚した方全員を対象とした場合、財政面での負担が大きいため、現在のところ難しいと考えている。



住まいの総合窓口で移住者支援を

答弁 現在は専門の職員を配置していない。今後どのような形で設置するかも含め検討し、移住・定住を

之条町では、移住定住コーディネートセンターを設置し、移住に関するワンストップ窓口を設けている。「やまのべ総合戦略」でも移住コンシェルジュの設置を掲げているが、すでに実践している中之条町から学び、同じような仕組みを導入していくことをどのように考えるか。



子どもへの手厚い支援で育てやすい町づくりに

質問 同じく「やまのべ総合戦略」にて子育て世代への家賃支援、転入者への保育料助成を掲げていたが、現在ではどのように考えているのか。

希望される方への相談や支援に関する取り組みを強化していきたい。また、活き活き暮らしている町民を増やし、Uターンニーズをさらに喚起していくという観点も検討項目に入りたいと考えている。

答弁 家賃支援については課題が多く、申し上げる段階には至っていない。保育料助成については、所得が少ない世帯に対し多子世帯における第一子の年齢制限を撤廃し、第二子半額や第三子以降は無料化を今年度実施。今後は、町全体の幼児教育無償化を検討していく。

学校教育

学校規模の適正化 町はどう話しを進めるのか



武田啓一郎

(町長) まずは地域や保護者の方の意見を聞く場を設けていく

質問 大寺小学校の児童数は、今年度46人。平成30年には40人、平成33年には33人と見込まれている。適正な教育環境の規模という課題の中で、大寺小学校の将来のあり方として、どのように話し合いの糸口を見出し、地域にとっては、最もデリケートで、話し合いの糸口を見出すのも難しいのが現実ではないか。

答弁 山形大学の研究委託報告書を受け、平成21年10月に山辺町小中学校将来構想を策定している。この指針により、「大寺小学校については、今後



昭和21年のピーク時は児童数492人、平成元年152人、今年度46人の児童数となっている大寺小学校…子どもたちのための教育は

とも児童数の回復が見込まれない場合、児童数50名を一つの目安とし、再編・統合を検討・推進する。」としている。これまで教育委員会内部でも検討を進めてきている。まずは地域や保護者の方の意見を聞く場を設けていく。教育委員会主催による「大寺小学校の今後を

質問 児童数減少を受け英語教育の先進的な取り組み、フリー学区制、公営住宅の建設などさまざまな提案をしてきた。小規模の特性を活かした教育環境を継続維持発展させていく手立ては、考えているのか。

考える座談会」という形で、忌憚のない意見を聞いてみる機会を近々計画していきたい。「何よりも子どもたちにとって、より良い教育環境がどうあるべきか」を十分議論し、検討していく。



小規模校の特色を活かした教育も素晴らしいが、子どもたちの「生きる力」を育むためには…

答弁 大寺小の特色ある学校経営のためのALT(外国語指導助手)の要望を受け、配置して3年、児童とのふれあいも十分にでき、生活の中で生きた外国語活動が行われ、その成果が学習発表会での表現活動に現れてきている。

小規模校の有益性を認めるものの、児童数の増加が見込めない中において、「生きる力」を育むためには、切磋琢磨する教育環境も求められる。多様化・複雑化する社会問題に対

質問 地域の将来を羨望した既存教育施設の活用などを含め、町の前向きな提案の考えはないのか。

答弁 まずは、地域住民と保護者の意見を聞くことをスタライオンにし、再編統合という方向に向かうこととなれば、町としても前向きな提案なども考えたい。

人命最優先

AEDの夜間使用の障害における対応は

(町長) わが町は人の命を最優先に考えたい



渡邊 裕二

質問 夜中にAEDが必要な場合、公民館などの入口のガラスを割って取り出すのは難しいと思いませんか？

回答 担当課としては、AEDは5分以内で使うことが望ましいとあるので、時

回答 多くの施設で事務所の中にはなく、施設内に設置してあると認識していた。必ずしもそうではないようなので全施設を再確認する。ただし室外に設置となれば高温や低温、風雨や紛失などを考えれば、施設外への設置は困難であると思う。

りにいけるのか。



ほとんどの施設で鍵のかかる二重扉の奥に設置

目の前で苦しんでいる人の命を最優先すべきであり、万一、目の当りにした場合では、入口のガラスを割って取ってもかまわない。

間を駆け取りに行くより、いち早く心臓マッサージをするほうがいいと思う。多くの人に救急蘇生法を学習していただき対応することが望ましい。

質問 中山間部への救急隊の到着時間を考えても不安が大きい。長期にわたる休業施設のAEDを消防ポンプ車庫に移動したり、室外用の入れ物に設置するのはどうか。コンビニエンスストアに協力依頼し、設置することも良いのでは。

回答 消防団からも提案をいただきました。コンビニエンスストアの依頼は、誰が持ち出したかわからないなどの問題も出てくるので難しいと思う。



屋外設置用の温度管理機能付き収納ボックス

高齢者安全

増加する高齢運転者の安全のために

(町長) 交通安全対策協議会において重要課題として取り組んでいく



遠藤真由美

質問 山形県警が所有する「交通安全ゆとり号」は運転に必要な注意力や判断力を診断する器材を搭載し、きめ細やかなアドバイスをするもので担当課も関心を持っている。県内に1台しかないこ

質問 自分の運転能力を客観的に判断してもらい、自覚を促すことが安全に繋がる第一歩である。先日大寺公民館事業で開催した、県警の「ゆとり号」を使用した交通安全講座は大変タイムリーな講習だった。今後このような講習会を、「交通安全大会」や「敬老会」などで毎年開催できないか。



運転の判断力を審査する「交通安全ゆとり号」があなたの街へお伺いします！

質問 県警によると町内の「運転免許」とから申し込みが混んでいるようだが、今後敬老会などに利用してもらえよう周知していく。

回答 申請に基づき27年度は4名、今年度10月末現在で6名の方に交付している。

自主返納人数は27年度21名、今年度は10月末で16名とのこと。返納特典として山辺町では最長2年間有効のコミュニティバス無料乗車券を交付しているが、交付人数は。

質問 「免許返納」に踏み切れないのは、車が生活手段としては、車が生活手段として必要と考える。

回答 免許自主返納高齢者支援について、タクシー業界やバス会社でも運賃割引支援を実施しているようだが、免許を保有していない高齢者もあり、平等性について考慮が必要と考える。

質問 山辺小図書館の絵本棚改善と町内小学校での演劇鑑賞会の開催で、子ども達の創造力を高めて欲しい。

回答 状況を確認し、旧鳥海小の棚が使えないか検討する。演劇鑑賞については学校の意向を聞いた上で今後の検討課題とする。



サイズが合わず整理しにくい本棚

学校再編

人口減少に伴う学校再編は

(町長) 子どもにとって良い教育環境はどうあるべきか
「今後の教育を考える座談会」を開催していく



本田四志子

質問 将来の山辺町をリードし次世代を繋ぐ大切な役目を担う子どもたち。この子らの将来を見据えたときに、少人数の中での学校教育はどのようにか。将来の人間形成にはどうなのだろうか。

授業に特色がある素晴らしい学校教育とはいえ、多数の中で切磋琢磨しながら学び成長できる児童生徒の教育環境が最も大切であると考えます。

生きる力は、人間同士から教わり教科書からだけでは学べない。これからの未来を生きる健やかな子ども達のために、学校再編をふ

また将来の学校のあり方、方向性をしっかりと考える時期とかが町としてはどのような考えでいるのか。



学校に活気を取り戻すことが機軸なのだが...

答弁 今日の急激な少子化に伴う児童の減少は、学校の再編統合や学校配置の見直しを迫るものとなってきている。現在、山辺町においても直面している大きな課題となっている。

平成20年にまとめられた「山辺町学校教育の在り方」の中でも将来の児童生徒の変化を



運動会も少人数化し切磋琢磨のチャンスも減少に

予測し、近い将来こういう問題が予想されていたことから、町としても将来の学校の在り方・方向性をしっかりと考えなければならぬ時期、段階に來ていると考えている。(武田議員の質問でも答弁)

今後、教育委員会主催による「大寺小学校

の今後の教育を考える座談会」を開催し、地域の方・保護者の方より、まずは忌憚のない意見を聞く機会をつくり、子どもにとってより良い教育環境はどうあるべきかと言うことをおれずに議論を積み重ねていく。

健康維持

健康な高齢者を増やそう

(町長) 運動を通じた健康維持の取り組みを支援する



齋藤 邦彦

質問 健康延伸展開事業(健康教室)は、健康であれば医療機関への受診や治療が減るだけではなく、介護予防にもなり、医療費や介護料の削減へつながり、町の財政運営にも有効な手段と考えられる。

健康教室の参加者の平均年齢、60歳以上の割合、年間利用者数は、

答弁 平均年齢は、68・4歳で、60歳以上の割合は、約90%、年間延べ利用者は平成25年1万2405人、26年1万2639人、27年1万3468人である。

夜間教室増の要望もあり、今年火曜日に



健康は町の宝になる

10回1コースで「カラダ引き締め教室」を開設したが、来年度は、健康運動指導士の確保

を考慮し、週2回夜間教室を開設できるように検討していきたい。

また、各教室の利用率の向上にも努力する。その他に、各公民館で一般介護予防教室の実施や壮年期を対象とした女性、男性向け教室を実施し、運動の機会を提供している。

質問 高齢者を対象としたスポーツに対する支援の取り組み方は。

答弁 ゲートボール、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、社交ダンス、健康体操、太極拳などの主管団体が責任を持って運営を

行い、町は運営を補助し、補助金を交付する形で支援している。

この他、山辺の里スポーツクラブで年齢にあつた教室、イベントを展開し、これからも高齢者の健康増進に努力していく。



高齢者でも安心して取り組める水中トレーニング

新しい町への挑戦

降雪期の通学路と 中央公民館の暖房検証

総務文教常任委員会

積雪により通学が危険となる時期となり、安心して通学できるように山辺小学校学区を主に通学状況や危険箇所の検証を行いました。

各家庭の屋根や樹木から落ちた雪が、通行の妨げをしないよう呼びかけのPRや、町道除雪作業後に狭くなる道路幅を排雪作業により確保するなど、関係機関で連携を取

りながら通学路の安全確保に努めるよう要望しました。

また、冬期間における中央公民館で長年利用者にご不便をおかけしてきましたが、設置してあるエアコンのほか、8台のFF式暖機を設置することとなりましたので、現状の確認を行い、快適にご利用いただけるよう要望しました。



生徒も運転者もドキドキ!

(株)山形ピッグファーム 第二農場視察

厚生産業常任委員会

11月14日、今春県の助成を受け完成、稼働している北山地区にある山形ピッグファーム第二農場の視察を行いました。

衛生防除の関係で内部には入れませんでした。阿部社長から施設の説明を受けました。

第二農場は繁殖専用の畜舎という事で、特に衛生面では気を使っており、

出入りするゲートには車両ごと自動で消毒する設備や、作業員も入退室時に徹底した殺菌を行っています。

また、排泄される尿と糞を別々に管理、処理する事で臭気の発生を抑制していました。

今後も町の名産品「舞米豚」の順調な生産活動に取り組みでいただきました。



徹底された衛生管理

地域ブランド化と 一億総活躍社会の行方

県町村議会議員研修会

10月17日、県町村議会議員研修会が、山形国際交流プラザで開催されました。

農政ジャーナリストの石井隼人氏は、「TPPと日本農業の行方」と題して、強い農業とは何か。理想を捨て何を取っていくか。智恵を使う農業として、地域ブランド化を進める信念を持つことを提唱。

ジャーナリストの須田慎一郎氏は、「今後の政治・経済の行方」と題して、景気回復の実感が無い。

現政権の一幕の失敗から、「トトリクルダウン」(大企業の利益をコップに例え、水があふれ滴り落ちて、下請け協力企業にも利益配分される現象)理論は崩れた。一億総活躍社会は、シルバー層、女性、障がい者に目が向けられている。

日本の景気回復は、航空、バイオ、医薬に望み



社会の動きを研修

ぜひくぼらんに語りあおう

山辺町商工会との懇談会

12月14日、商工会役員との懇談会に全議員が参加しました。今年初の企画で、3人の議員が「先進地視察」「商工業」「観光」の各テーマについて話をし、その後全員で色々な意見を出し合いました。テーマを絞ることによって内容が深められたと思います。

奥山総務財政委員長の名司会もあって、商工会役員も全議員も各々の本音が言いあえる実のある懇談会でした。今後ともお互い知恵を出し合い、商工業発展のために尽くしていきます。



テーマについて熱弁

読まれて、伝わる議会広報

全国町村議会広報研修会

10月25日、全国町村議会広報研修会が東京で開催され3名の委員が受講して来ました。3つのプログラムに各70分の時間で講義を受け、いかに読み手から、手にとってもらえるか、内容を理解されるかなどポイントを学ぶことができました。

議会広報だからこそ伝えられる内容にする事。「優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集」では、定例会終了日から短期間で発行するなど、新鮮な情報を届ける重要さを認識してきました。



研修を紙面に活かす

出前議会募集中!

対象 地域の集まり・子供育成会・グループなどの団体

お問い合わせ・お申し込み 議会事務局 ☎023-667-1117

★お近くの議員までお気軽にお話しください

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 蔵王樹氷まつり	蔵王温泉スキー場	3月5日(日)まで	1千人松明滑走、冬のHANABI、冬の開運回遊、樹氷ライトアップなどの多彩なイベント	蔵王樹氷まつり協議会 TEL 023-647-2266
上山市 加勢鳥(かせどり)	上山城~市内	2月11日(土)	五穀豊穰と商売繁盛、火伏を祈る冬の風物詩	上山市観光物産協会 TEL 023-672-0839
中山町 だんご木市	上町通り	2月10日(金)	だんご木のほか、出店も立ち並び賑わいます	中山町観光協会 TEL 023-662-2114



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

傍聴しませんか 次回の定例会は3月です。お気軽にどうぞ。☎023-667-1117 (議会事務局)

お願い 議会だより取材のため、議員が撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。